





この森の調査に向かったのは完全に失敗だった

はあ…



はあ…

同じく調査に向かったメンバーとははぐれもはや出口もわからない



あれは…

人影…?



君待ってくれ!

少し話を…!



いふ…



うう…





あら お早い  
お目覚めね

サ''

!!



しょ...  
食事...!?

さーて  
それじゃあ  
キミには  
私の食事に  
付き合っ  
てもら  
おうかな



体が...!

ググッ...  
落とし穴に落ちた  
ばかりだからね  
無理ないよ





そうだよ  
今からキミは私に  
食べられちゃうんだ

なっ...!?

驚いたかな?  
そういう生物なんだ  
私達



むしろ  
とろっても

うわっ!?

気持ちいいくらい  
なんだから...♡



でも大丈夫!  
全然怖いこと  
なんてないよ!



ここまでくれば  
どんなに鈍感でも  
わかるでしょ?!

私が食べたいのは  
キミのおちんぽから  
出る「精液」だよ♡





んんん

んんん



んんん

れろろ



プロ...



よおしおちんぽ  
ガチガチになったね♡

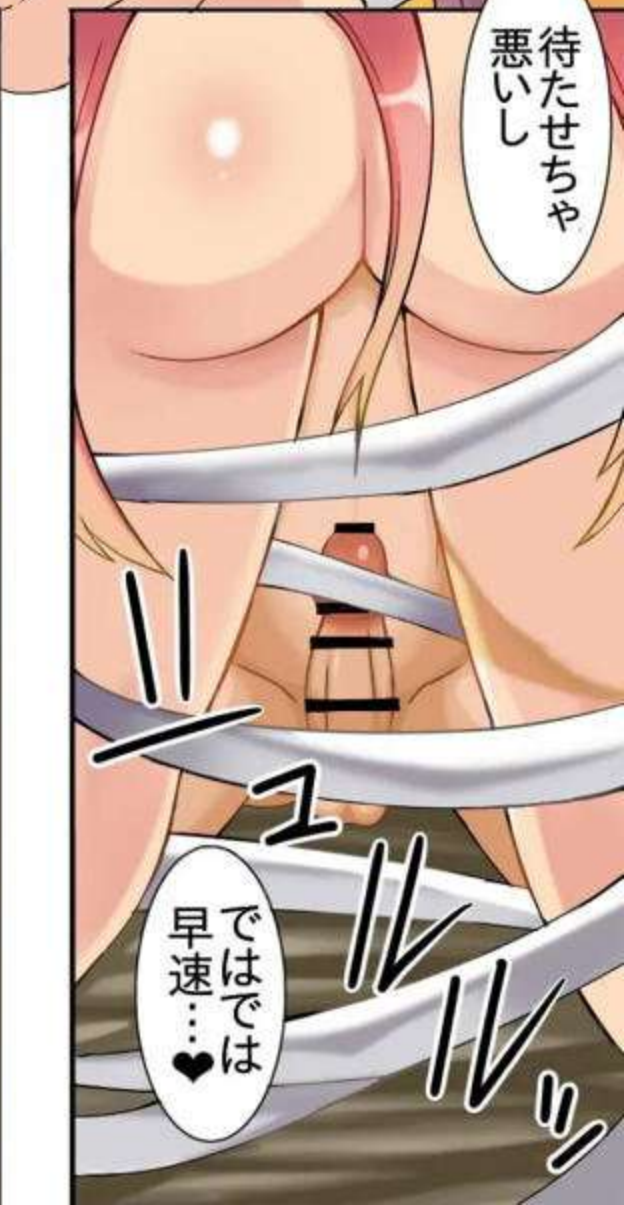
いまにも爆発  
しそうなくらい  
元気いっぱいいいぞ♡



こっちで  
メインディッシュを  
一気にいただきたい  
ちやおうかな♡

や...  
やめてくれ

やめないよ♡



待たせちゃ  
悪いし

ではでは  
早速...♡



ほら見て♡

キミと私の大切なところ  
繋がっちゃった♡

はっ♡

はっ♡

これからじっくり  
キミの精液を  
一滴残らず  
吸い上げてあげ

ズルッ  
ズルッ  
ズルッ

あう…

くあ…

あらら♡  
膣内に入れただけで  
射精ちゃったね♡

ちよつと刺激が  
強すぎたかな？

るっ!?

ズルッ  
ズルッ  
ズルッ





ね…♡



でも君のは  
まだまだ私の膣内で  
大きいままだよ♡

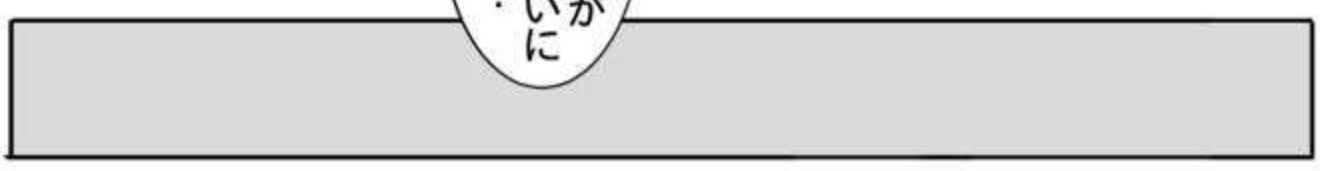
まだ  
私とシたり  
ないんだよね？

はっ

じゃあこのまま  
続けようよ♡

はっ

お互いの体が  
溶けるくらいに  
食べあつて…



あはっ♡さっきより  
すごーい♡

中でビクビク  
脈打って…

ううっ…!

あふれちゃうくらい  
おいしい精液  
流れ込んでくるよお♡

ぽ  
ちゅ♡

ぽ  
ちゅ♡

ぽ  
ちゅ♡

ド  
グ♡

ド  
グ♡



ねえそろそろ  
キミからも  
してほしいなあ♡

はっ♡

早くここに  
カチカチのちんぽ  
ぶちこんで♡

はっ♡



ちんぽ  
さっきまでと違う  
場所に届いて

ズッ

んっ♡

あんっ♡

うん...♡  
すごくいいよお

ビクッ♡



あっ♡

来てっ♡  
そのまま♡

膣内に♡

精液♡

ズッ

ズッ







さすがに  
疲れちゃった  
かな？

はあ

うん  
じゃあ

ゆつくり  
お休み♥



同時刻  
森の別地点にて

ねえねえ

無理やりされて  
悔しい？

それとも  
気持ちいい？

どっちにしても  
情けないね♡



ふっ♡

今回の  
どのくらい持つかな♡

ふっ♡





何も気にせず  
そのまま快樂に  
身を任せ...

あなたのちんちん  
ビクビクして  
そろそろ限界みたい♡

濃厚ザーメン  
ぜーんぶ  
私に食べさせて♡







ドク  
ドク  
ドク

ビュ  
ビュ  
ビュ

ドク  
ドク  
ドク

ドク  
ドク  
ドク

ドク  
ドク  
ドク



ねえー  
今回来たのって  
あれだけで全部？



そうだよ  
ちようど一人  
一つずつ



大分  
満足した



こっちはちよつと  
物足りないかなあ

私のとこに来たの  
図体がでかいだけ  
だったんだもの



カッ

：また誰か  
来たみたい

さっきより  
数が少ないから  
早い者勝ち…

だね♡

